

みずほCustomer Desk Report 2024/01/25号 (As of 2024/01/24)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	148.16
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	148.25	1.0859	160.95	1.2693	0.6585
SYD-NY High	148.36	1.0932	161.01	1.2774	0.6621
SYD-NY Low	146.65	1.0852	160.03	1.2687	0.6566
NY 5:00 PM	147.50	1.0886	160.64	1.2725	0.6578
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,806.39	▲ 99.06	日本2年債	0.0600%	0.0400%
NASDAQ	15,481.92	55.98	日本10年債	0.7200%	0.0800%
S&P	4,868.55	3.95	米国2年債	4.3820%	0.0110%
日経平均	36,226.48	▲ 291.09	米国5年債	4.0903%	0.0491%
TOPIX	2,529.22	▲ 12.85	米国10年債	4.1791%	0.0480%
ソコ日経先物	36,280.00	▲ 225.00	独10年債	2.3335%	▲ 0.0140%
ロンドンFT	7,527.67	41.94	英10年債	4.0065%	0.0240%
DAX	16,889.92	262.83	豪10年債	4.2510%	0.0440%
ハンセン指数	15,899.87	545.89	USDJPY 1M Vol	8.80%	0.30%
上海総合	2,820.77	49.80	USDJPY 3M Vol	9.26%	0.20%
NY金	2,016.00	▲ 9.80	USDJPY 6M Vol	9.48%	0.10%
WTI	75.09	0.72	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.16%	Yen Call Over
CRB指数	270.99	2.78	EURJPY 3M Vol	8.72%	0.04%
ドルインデックス	103.24	▲ 0.38	EURJPY 6M Vol	9.24%	0.04%

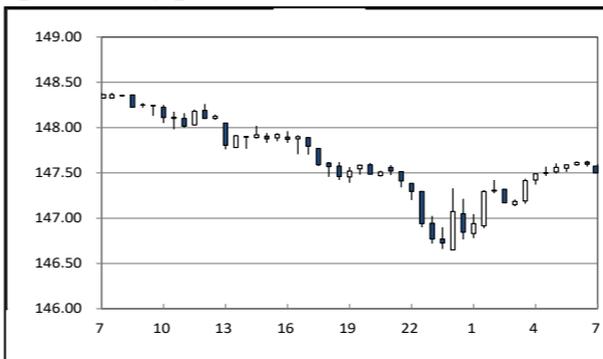
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月24日	08:50	日 貿易収支	12月 ¥62.1b	-¥122.6b
	17:30	独 製造業/サービス業PMI・速報	1月 45.4/47.6	43.7/49.3
	17:30	独 コンポジットPMI・速報	1月 47.1	47.8
	18:00	欧 製造業/サービス業PMI・速報	1月 46.6/48.4	44.7/49.0
	18:00	欧 コンポジットPMI・速報	1月 47.9	48.0
	23:45	米 製造業/サービス業PMI・速報	1月 50.3/52.9	47.6/51.5
	23:45	米 コンポジットPMI・速報	1月 52.3	51.0

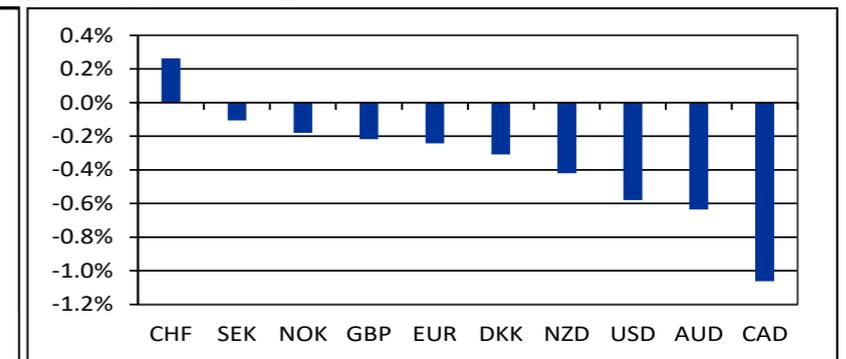
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月25日	18:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	1月 86.6/88.5/84.8	86.4/88.5/84.3
	22:15	欧 ECB主要政策金利	25-Jan 4.5%	4.5%
	22:45	欧 ラガルドECB総裁 会見	-	-
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q 2.0%	4.9%
	22:30	米 個人消費	4Q 2.5%	3.1%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	20-Jan 200k	187k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-148.50	1.0820-1.0950	160.00-162.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一時146円台後半まで下落するも、その後147円台半ばまで回復。東京時間148.25でオープンし、しばらくは148円台で底堅く推移するも、円金利の上昇と米金利が低下する流れが相まって、ドル円は軟調な値動きになると、NYオープン直後に146.65まで値を下げる展開。その後、発表された米1月製造業PMIとコンポジットPMIが予想を上回り、ドル買いが優勢となり、147.40付近まで反発。続いて発表された低調な米5年債の入札結果を受け、米金利高基調が強まる中、147.63まで値を上げ、結局147.50でクローズした。

本日のドル円は底堅い展開を予想する。昨日ドル円は一時146円台まで値を下げる場面が見られたが、経済指標では経済の底堅さを確認。本日米第4Q GDPが発表される予定となっており、予想比堅調な結果となった場合には、再びドル買いの展開が想定され、ドル円も148円台を回復する展開となるか。また、本日はECB理事会の開催が予定されており、金融政策の現状維持が見込まれているが、ラガルド総裁の会見に注目が集まっており、今年の利下げタイミングについての発言内容によっては、米ドルの対ユーロでの値動きによっては、ドル円にも波及可能性あり、留意したい。

東京	東京時間のドル円は148.25レベルでオープン。前日に行われた日銀金融政策決定会合後の植田総裁の記者会見での発言内容を受けてマイナス金利解除観測が強まり、長期金利が上昇するなか、東京時間を通じて円高ドル安基調で推移。屋過ぎには147.76を付ける場面が見られた。その後は、147円台後半での推移が続き147.93レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.93レベルでオープン。米10年債利回りの下落を背景に全体的なドル売りが継続し、結局147.30レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2703レベルでオープン。英1月PMI速報値が予想を上回り、英経済の景気後退懸念が後退し、1.2773まで買われる。その後調整し、結局1.2739レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台前半でスタート。円金利の上昇と米金利が低下する流れが相まって、ドル円は軟調な値動きが続き、147.30レベルでNYオープン。朝方は146.65まで値を下げるも、続いて発表された米1月製造業PMIとコンポジットPMIが予想を上回り、ドル買いが優勢となり、147.40付近まで反発する。午後に発表された低調な米5年債の入札結果を受け、米金利高基調が強まる中、147.63まで値を上げ、147.50レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。欧州1月PMIは軟調な結果となるも、中国当局の景気刺激策の発表受け、独株式市場が史上最高値を更新するのを横目の上押し、1.0895レベルでNYオープン。午前中は1.0932まで続伸するも、その後米金利が上昇する展開を受け伸び悩み、1.0890近辺まで反落。午後もユーロ安の流れが続き、1.0886レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小林・西